

第24回・建設業経理士2級（不完全な解答速報）

この解答速報は、弊社スタッフが受験した際の問題用紙に基づき作成しています。従って、解答用紙は過去問から推定して簡易的に作成しておりますが、第3問は作成できませんでした。また、精算表の一部に関しても計算しておりません。また本日は担当者一人による作成につき検算もできておりません。間違いに気づいた場合は修正分をUPします。これらの点に関してはご了承下さい。

<第1問>記号は記していません

(1)当座預金 568,400 / 投資有価証券 535,000
投資有価証券売却益 33,400

(2)完成工事補償引当金 760,000 / 支払手形 760,000

(3)繰越利益剰余金 690,000 / 未払配当金 400,000
利益準備金 40,000
別途積立金 250,000

(4)減価償却累計額 490,000 / 機械装置 930,000
減価償却費 120,000
固定資産売却損 20,000
未収入金 300,000

(5)未成工事受入金 900,000 / 完成工事高 3,500,000
受取手形 2,600,000

<第2問>

(1)419,000 (2)6,480,000 (3)140,000 (4)7

(4)参考

	機械装置A	機械装置B	合計
取得原価	1,000,000	3,200,000	4,200,000
耐用年数	5	8	∴ 7
減価償却費	200,000	400,000	600,000

<第3問>解答用紙がないので、作成できません。申し訳ありません。
過去問お持ちの方は第15回と同様の計算になります。

<第4問>

問1

- 1.C (参考：計算対象＝最終生産物に直接対応するか否かによる分類)
- 2.D (参考：変動費と固定費)
- 3.B (参考：仮設・解体・仕上などの工事の作業種類別分類)
- 4.A (参考：材料費・労務費・外注費・経費)

問2

工事別原価計算表

摘要	X工事	Y工事	Z工事	計
月初未成工事原価	1,189,000	1,430,000	—	2,619,000
当月発生工事原価				
材料費	76,000	116,000	281,000	473,000
労務費	52,000	64,000	115,000	231,000
外注費	127,000	228,000	458,000	813,000
直接経費	43,000	62,000	94,000	199,000
工事間接費	10,430	16,450	33,180	60,060
当月完成工事原価	1,497,430	—	981,180	2,478,610
月末未成工事原価	—	1,916,450	—	1,916,450
参考：直接原価計	298,000	470,000	948,000	

工事間接費配賦差異 A 7,440 (9,500－2,060)

参考：工事間接費予定配布率→ $721,000 \div 20,600,000 = 3.5$ (%)

X工事の工事間接費→ $298,000 \times 3.5\% = 10,430$

<第5問>

前T/Bがわかりませんので、一部を除いては解き方のみを記しております

(1)不渡手形 12,000 / 受取手形 12,000

貸倒引当金繰入 12,000 / 貸倒引当金 12,000

(2)材料貯蔵品 2,500 / 未成工事支出金 2,500

(3)①販管費 6,000 / 仮払金 6,000

販管費 1,000 / 未払金 1,000

②仮払法人税 58,000 / 仮払金 58,000

(4)①仮受金 7,000 / 完成工事未収入金 7,000

②仮受金 14,000 / 未成工事受入金 14,000

(5)受取手形 + 完成工事未収入金 - (1)12,000 - (4)①7,000

これに 2% 乗じて貸倒引当金を計算 → 差額で繰入額

(6)①未成工事支出金 1,000 / 機械装置減価償却累計額 1,000

②販管費 19,000 / 備品減価償却累計額 19,000

(7)販売管理費 15,000 / 退職給付引当金 15,000

未成工事支出金 18,000 / 退職給付引当金 18,000

(参考)

	管理部門 (販管費)	施工部門 (未成工事支出金)	合計
前期末	85,000	165,000	250,000
当期支払	3,000		
仮計	82,000	165,000	247,000
当期末 (引当金 計上額)	97,000	183,000	280,000
繰入額	15,000	18,000	33,000

※前 T/B がないので詳しいことはわかりませんが

退職給付引当金は前期末は 250,000

当期仕訳 退職給付引当金 3,000 / 現預金 3,000

∴前 T B では 247,000 (表の仮計の合計)

期末は 280,000 円にする必要があるので繰入額は合計で 33,000

(8)から (10) は省略します

待望の「建設業経理士 1 級」基礎講義スタート!

驚異の低価格

<DVDコース>

財務諸表・財務分析・原価計算とも



NEW

・基礎講義 各 7,000 円 (各 30 時間程度)

解説追加

・過去問ゼミ 各 10,800 円 (8 回分)

合格パック 各 16,000 円



DVD形式	基礎講義	過去問ゼミ	合格パック
財務諸表	7,000	10,800	16,000
原価計算	7,000	10,800	16,000
分析	7,000	10,800	16,000
2セット	13,300	20,520	30,400
3セット	18,900	29,160	43,200



WEB形式(2開催)	基礎講義	過去問ゼミ	合格パック
財務諸表	6,000	9,000	14,000
原価計算	6,000	9,000	14,000
分析	6,000	9,000	14,000
2セット	11,400	17,100	26,600
3セット	16,200	24,300	37,800

※WEB形式お申込みの方は2開催分の料金となります

基礎講義→建設業会計概説の各章の練習問題を元にレジュメで論点を解説

※財務諸表(20章)、原価計算(19章)、財務分析(18章)

過去問ゼミ(原則としてTAC出版の発売ベースで直近8回分:同一論点は割愛)

※建設業振興基金のテキスト(各2,600円)と過去問題集(TAC出版各1,600円、ネットスクール各2,000円:いずれも直近10回分)をご用意ください。

採用理由:最近の試験は市販の書籍ではなく基金のテキストからの出題が増えており難易度が増しているのです。



※建設業経理士2級程度の知識がある方が前提の講座となります